

参考様式第29及び参考様式第32の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 50																				
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業																				
細要素事業名	荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン基本計画策定事業																				
全体事業費	7,579（千円）																				
<p><事業概要></p> <p>本市における東部地域防災集団移転促進事業（平成28年度完了）の移転跡地については、平成27年度から被災者の思いをくみ取りながら有効活用を図るべく具体的な検討を開始し、平成29年3月に「集団移転跡地利活用方針」を公表した。</p> <p>荒浜地区については、「東部沿岸部の拠点」として位置付け、多様な目的で様々な方が持続的に訪れるための土地利用を実現し、本市東部沿岸部の回遊性を創出することで、地域の歴史や文化・震災の記憶と経験を国内外へ発信・継承していくことを目指している。荒浜地区の跡地利活用は、事業者公募を行い、民間の自由な発想を活かした民間事業者による土地利用によって新たな賑わいを創出するとともに、震災前に行われていた地域の伝統行事など、元住民や地域団体、NPOなどによる地域の歴史や文化・震災の記憶と経験の継承につながる活動を継続・再開するため、一定規模の公共施設整備を検討することとしている。荒浜地区の公共利用ゾーンについては、その一部は避難の丘や震災遺構等としての土地利用が決定している一方で、それ以外の土地については、駐車場や広場、緑地等としての土地利用を想定しているものの、その必要性や規模等について検討が必要である。</p> <p>本事業は、荒浜地区の公共利用ゾーンのうち具体的な利用計画が決まっていない土地について、周辺で予定されている利活用事業の内容や深沼海水浴場の再開、震災遺構との連携などを踏まえながら、計画対象地の機能やテーマなどを整理したうえで、導入施設の内容とその規模や配置、必要性等を検討し、基本計画を策定するものである。</p> <p><対象面積></p> <ul style="list-style-type: none"> 荒浜地区 5.1ha <p><事業費></p> <ul style="list-style-type: none"> 荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン基本計画策定業務委託 7,579千円（今回協議分） ①基本計画 1式 <p><事業スケジュール（予定）></p> <table border="0"> <tr> <td>平成28年 2月</td> <td>「集団移転跡地利活用の考え方」を公表</td> </tr> <tr> <td>平成28年 4月～平成28年 6月</td> <td>「集団移転跡地利活用のアイデア」募集</td> </tr> <tr> <td>平成28年11月～平成29年 2月</td> <td>利活用検討委員会、市民フォーラム開催</td> </tr> <tr> <td>平成29年 3月</td> <td>「仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用方針」策定</td> </tr> <tr> <td>平成29年 9月</td> <td>利活用事業者公募の応募要領の公表（1次）</td> </tr> <tr> <td>平成30年 3月</td> <td>利活用事業者の決定（1次）</td> </tr> <tr> <td>平成30年10月</td> <td>利活用事業者公募の応募要領の公表（2次）</td> </tr> <tr> <td>平成31年 1月～平成31年 6月</td> <td>荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン基本計画策定</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン実施設計</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン整備工事</td> </tr> </table> <p><基幹事業との関連性></p> <p>本事業は、防集移転元地を活用して荒浜地区の防集移転者や周辺住民、震災遺構への来訪者等のための憩いの場を創出し、津波被災地域の賑わいや交流を再生させることにより、防集事業の効果を促進するものである。</p> <p><基幹事業に関連するこれまでの市街地復興効果促進事業活用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団移転跡地利活用方針検討業務委託 10,000千円（H28.9.23 使途協議済み・契約額 6,173千円） ・ 集団移転跡地用地調査検討業務委託 31,000千円（H29.2.10 使途協議済み・契約額 26,136千円） ・ 集団移転跡地利活用事業者公募選定業務委託 10,000千円（H29.4.12 使途協議済み・契約額 7,646千円） 		平成28年 2月	「集団移転跡地利活用の考え方」を公表	平成28年 4月～平成28年 6月	「集団移転跡地利活用のアイデア」募集	平成28年11月～平成29年 2月	利活用検討委員会、市民フォーラム開催	平成29年 3月	「仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用方針」策定	平成29年 9月	利活用事業者公募の応募要領の公表（1次）	平成30年 3月	利活用事業者の決定（1次）	平成30年10月	利活用事業者公募の応募要領の公表（2次）	平成31年 1月～平成31年 6月	荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン基本計画策定	平成31年度	荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン実施設計	平成32年度	荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン整備工事
平成28年 2月	「集団移転跡地利活用の考え方」を公表																				
平成28年 4月～平成28年 6月	「集団移転跡地利活用のアイデア」募集																				
平成28年11月～平成29年 2月	利活用検討委員会、市民フォーラム開催																				
平成29年 3月	「仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用方針」策定																				
平成29年 9月	利活用事業者公募の応募要領の公表（1次）																				
平成30年 3月	利活用事業者の決定（1次）																				
平成30年10月	利活用事業者公募の応募要領の公表（2次）																				
平成31年 1月～平成31年 6月	荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン基本計画策定																				
平成31年度	荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン実施設計																				
平成32年度	荒浜地区集団移転跡地公共利用ゾーン整備工事																				

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 23 - 2 - 51
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	集団移転跡地利活用事業 南蒲生地区：⑦ブロック基盤整備事業
全体事業費	4,775（千円）

<事業概要>
 本市における東部地域防災集団移転促進事業（平成28年度完了）の移転跡地については、平成27年度から被災者の思いをくみ取りながら有効活用を図るべく具体的な検討を開始し、平成29年3月に「集団移転跡地利活用方針」を公表した。
 この方針に基づき、民間の自由な発想や提案を最大限に活かすため、平成29年9月に本市が目指す東部沿岸部の「新たな魅力の場」の創出に資する事業提案を公募し、移転跡地の利活用を進めている。
 本事業は移転跡地のうち南蒲生地区において、平成30年3月に利活用事業の事業候補者が決定したため、土地の引渡しに先立ち、最低限必要な水準において基盤整備工事を行うものである。

<事業費>
 集団移転跡地基盤整備〔民間利用分〕 9,551円（今回協議分）
 ・南蒲生地区：⑦ブロック 造成工事 9,551千円

【復興交付金の補助対象経費】
 総事業費 9,551千円
 補助対象経費 4,775千円（総事業費1/2以内）

<基幹事業との関連性>
 本事業は、防集移転跡地を活用して防集移転者の雇用創出と地域の賑わいや交流を再生することにより、防集事業の効果を促進するものである。

<集団移転跡地利活用事業のこれまでの市街地復興効果促進事業活用状況>
 ・集団移転跡地利活用方針検討業務委託 10,000千円 (H28.9.23 用途協議済み)
 ・集団移転跡地用地調査検討業務委託 31,000千円 (H29.2.10 用途協議済み)
 ・集団移転跡地利活用事業者公募選定業務委託 10,000千円 (H29.4.12 用途協議済み)

<東日本大震災の被害との関係>
 本市の東部沿岸地域は、東日本大震災に伴う津波で家屋が流出するなど、甚大な被害を受け、そのほとんどの地域が災害危険区域となっており、設定された移転促進区域から内陸側の防集団地へ集団移転している。

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第29及び参考様式第32の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 52
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	新浜地区地域コミュニティ広場基本計画策定事業
全体事業費	5,712（千円）
<p><事業概要> 本市における東部地域防災集団移転促進事業（平成28年度完了）の移転跡地については、平成27年度から被災者の思いをくみ取りながら有効活用を図るべく具体的な検討を開始し、平成29年3月に「集団移転跡地活用方針」を公表した。 本市の集団移転跡地活用方針においては、各地区の特性を踏まえた土地利用により「新たな魅力の場」を創出することを土地利用方針としており、新浜地区については、周辺の貴重な自然環境との調和や地元町内会のまちづくり計画との連携を図りながら「地域を豊かにする場」としての利活用を目指している。新浜地区における集団移転跡地については、その一部を「地元利用ゾーン」と位置づけ、地域が主体的に管理・運営しながら、地域内外の人々の交流を創出する土地利用を地域が主体となって検討を進めてきた。地元町内会が中心となり検討を重ねたうえで、新浜地区の「地元利用ゾーン」については、地域内外の人々が交流する地域コミュニティ広場として整備を行い、地元町内会を中心とした地域自らが管理・運営を行っていくこととしている。 本事業は、新浜地区の地元利用ゾーンについて、地域コミュニティ広場としての整備に向けた測量及び基本計画策定を行うものである。</p> <p><対象面積> ・新浜地区 1.12ha</p> <p><事業費> ・新浜地区地域コミュニティ広場基本計画策定業務委託 5,712千円（今回協議分） ①測量 1式 ②基本計画 1式</p> <p><事業スケジュール（予定）> 平成28年 2月 「集団移転跡地活用の考え方」を公表 平成28年 4月～平成28年 6月 「集団移転跡地活用のアイデア」募集 平成28年11月～平成29年 2月 利活用検討委員会、市民フォーラム開催 平成29年 3月 「仙台市東部沿岸部の集団移転跡地活用方針」策定 平成29年 4月～平成30年12月 地域（地元町内会）による土地利用計画の検討 平成31年 1月～平成31年 4月 新浜地区地域コミュニティ広場測量・基本計画策定 平成31年 5月～平成31年 8月 新浜地区地域コミュニティ広場実施設計（開発許可手続きを含む） 平成31年 9月～平成31年12月 新浜地区地域コミュニティ広場工事 平成32年 1月～平成32年 3月 新浜地区地域コミュニティ広場建築工事（公共トイレ） 平成32年4月 新浜地区地域コミュニティ広場利用開始</p> <p><基幹事業との関連性> 本事業は、防集移転元地を活用して新浜地区の防集移転者や周辺住民等のための地域の憩いの場を創出し、地域の賑わいや交流を再生させることにより、防集事業の効果を促進するものである。</p> <p><基幹事業に関連するこれまでの市街地復興効果促進事業活用状況> ・集団移転跡地利活用方針検討業務委託 10,000千円（H28.9.23 使途協議済み・契約額 6,173千円） ・集団移転跡地用地調査検討業務委託 31,000千円（H29.2.10 使途協議済み・契約額 26,136千円） ・集団移転跡地利活用事業者公募選定業務委託 10,000千円（H29.4.12 使途協議済み・契約額 7,646千円）</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。